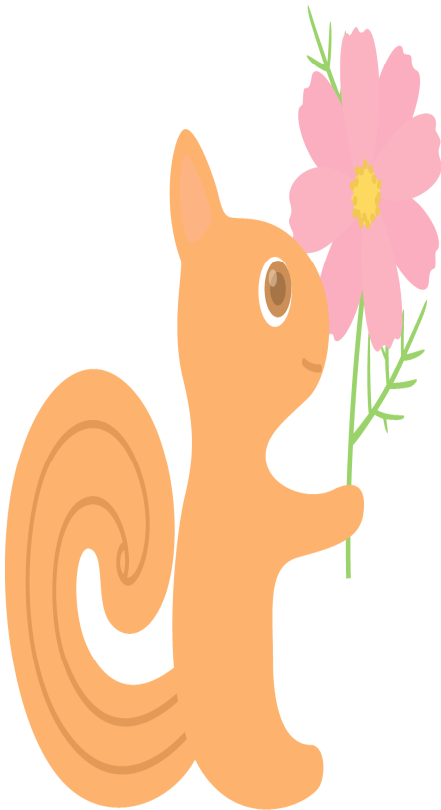




俳句

(2025)



目次

歳時記俳句	モ ー ロ ク 俳 句	た べ も の 俳 句
1 ゝ	5 ゝ	10 ゝ

10 月は和風月名で「神無月（かんなづき）」と呼ばれます。「神無月」の由来として、「旧暦の 10 月は出雲大社に全国の神様が集まってしまい、各地に神様がいなくなることから「神無月（かみなしづき）」になった」という説がよく知られており、出雲では「神在月（かみありつき）」とも呼ばれます。

(宇佐美保幸) メール・yasuyuki.usami@gmail.com

毎日の俳句は次のブログに
巢鴨とげぬき徒然俳句

<https://blog-haiku.777usami.com>

十月になれば書店に日記帳
十月やテレビドラマはマンネリに
十月に入る団地の清掃日

苦しまずあの世目指せよ秋の星
アマゾンの段ボールから秋の声
秋の声さそいさそわれ街散歩

秋気満つ秩父山寺毘沙門天
秋気澄む倉敷美観保存地区

親ガチャに恨みはないが秋愁ひ
老いてなおブログ集中秋灯
百色の色鉛筆や秋灯下

秋うらららブログ原稿本気なり
秋うらら蛙も吾も陶酔境
菊人形毎年変わらぬ主人公



菊日和地藏通りでラーメンを

秋雨は音声消したビデオかな
ピカチュウを探しさまよう花野行

秋時雨下校子供はダッシュして
秋思などとかつ食べて消え去りぬ

秋深し檻樓菊咲いて檻樓政治
別れには理由は不要木の实降る

ノルマありただ黙々と栗を剥く
ゆく雁やブログ原稿あれやこれ

星月夜パソコンの中宇宙あり
われの星探して無駄に星月夜
星月夜スパイ怖くて眠られず
ラーメンがのびて冷めゆく星月夜



沙美の浜貝殻拾う白い秋

現実はいかにもしれぬ芒原
芒原あの世の道か歩を進む

残る虫清く正しく新聞社
稲妻や絶体絶命壊れけり
稲妻や絶体絶命新聞社

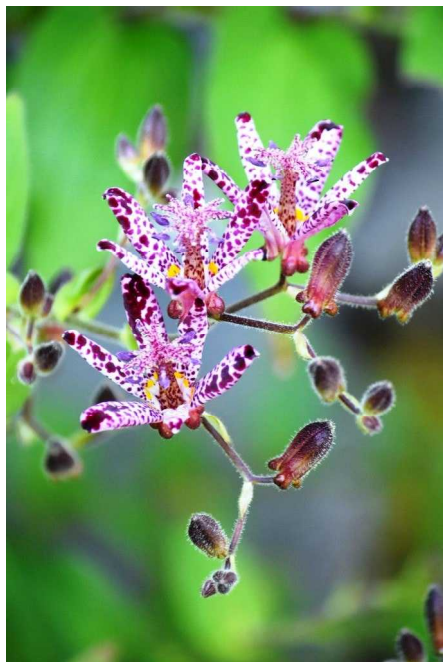
モコモコと浮かぶコキアの夜長かな

ギンナンの塩炒りメニュー居酒屋に
「ぎなん落とし」夫婦円満縁起物
境内に銀杏の降る空深し

残菊や理想現実乖離して
倒れても残菊として色競う



紅葉酔いワインで酔いて道惑う
庭紅葉くすぶるように紅葉する



モーロク俳句

モーロクす過疎の日暮の案山子かな
モーロクし小さな愛なら貝割菜

あおむしやぼとりと眠いモーロクす
モーロクし尖る檸檬に困惑す

モーロクし短気の虫も秋の虫
モーロクし人生始末残る虫
こほろぎの声やむとときにモーロクす

モーロクし奥歯噛みしめ林檎食う
烏瓜熟しひらいてモーロクす

泥臭く生きてモーロク鯨日和
モーロクし暗中模索蚯蚓鳴く



無花果を食べてモーロク末世かな
モーロクしされどいちじく妄想す
モーロクしされど煩惱無花果に
禁断の無花果食べてモーロクす
無花果の熟れてモーロクため息を

露あれば星の迎えかモーロクし
モーロクし秋の昼寝をながながと
モーロクし秋をひねもす過ぎしけり

秋風が吹けばモーロクまた進み
何一つできずモーロク秋の風
秋風に浮き足立ってモーロクす
秋風や後ろの正面モーロクす

モーロクし果の眠りや秋の雨
秋の雨気分モノクロモーロクす



モーロクしスロージョギング秋高し
秋天やモーロクすれば深き河
秋天を脳裏に入れてモーロクす

モーロクし鬼をおそれず秋闌ける
秋深しこころ柔らかモーロクす
秋深むモーロクすれどワインあり

モーロクし歌える校歌秋夕焼
秋夕焼昨日を忘れモーロクす
秋夕焼不意に崩れてモーロクす

モーロクし何の罪かと暮の秋
モーロクし心閉じざる秋の暮れ
モーロクしもの云はぬモノ秋の暮

モーロクしあの世寸前秋の雷



考えて迷うモーロク稲妻に
稲妻を浴びてモーロク死の準備
モーロクしひとり愉しくいなびかり

銀杏散る吾のモーロク進みけり
銀杏散るまつたゞ中でモーロクす
モーロクし銀杏拾う食べもせず
モーロクし銀杏踏んでよろめけり

金木犀モーロクすれば夢のなか
モーロクし鈍感なれどややさむし

モーロクし蓑虫が泣く吾も泣く
蓑虫のごとくぶらりとモーロクす

身にしむやほろりほろりとモーロクし
身にしむや体調過信モーロクし

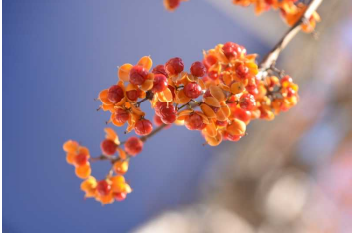


モーロクしいつまで続く枯野人

モーロクしうしろ閉ぢゆく芒原

モーロクしさりげなく過ぐすすき野を

モーロクす釣瓶落しにモーロクす
モーロクし釣瓶落し山の山仰ぐ



たべもの俳句

めんつゆで長芋焼いてシンプルにを
 長芋のめんつゆステーキほくほくに
 長芋をめんつゆバターこくうまに
 皮ごとに長芋焼いてステーキに
 長芋で好み焼きをもっちりと
 長いものめんつゆナムル副菜に
 素揚げする長芋フライおつまみに

おいしさをギュツと凝縮りんご煮を
 紅玉をバターで焼いて香ばしく

いちじくをじつくり煮含め甘露煮に
 いちじくの胡麻マヨ和えて箸休め

柿なます甘みと渋み紅白に



完熟柿果肉はとろりデザートに
熟柿を溺るるごとくしゃぶりけり

里芋と豚バラ煮物酒を酌む
ほっこりと鶏と里芋白みそ煮
ホクホクでねっとり里芋そぼろ煮に
里芋をひき肉あんで包み込む

里芋を豚バラ肉とみそ焼きに
里芋や赤味噌きかせ田楽に

蒸し鶏にすだちたっぷりマリネかな
レモン鍋鍋一面のインパクト

レンコンと豚しゃぶ煮込む秋おでん
秋野菜秋根菜で秋おでん

塩だけでシンプルほっこり栗ご飯



めんつゆでもち米加え栗おこわ
コトコトと煮含め栗の甘露煮を
栗の渋皮煮ロゼ色ほろつと柔らかく
つやつやとしっとり栗の渋皮煮
栗素揚げワインおつまみ中毒に
カリカリで中はほくほく栗素揚げ

秋なすを10分味しみとろとろに
秋なすを蒸して早業オイル和え
秋なすを切ってピリ辛あえものに
秋なすを蒲焼き丼に山椒振る

新米の塩おにぎり味比べ

柚大根鮮やか黄色刻み柚
柚白菜箸が止まらぬ柚香る

真面目かな真面目に食べる落花生



塩ゆでの落花生で炊き込みを

ピーナッツ味噌甘め味噌味お茶請けに
コーヒーピーナッツ大人の味にほろ苦く

朝寒や卵おかゆで朝食を

毒舌は誰の遺伝子温め酒
八十才酒こそ命温め酒



